広報たじみ
tajimist
共につくる。まるごと元気！多治見

9
2021
No.2344

参加店舗募集します!!

※くわしくは裏表紙で

［ 今月の見どころ ］ 表紙・裏表紙 「洒落(シャレ)テGO」～おしゃれをしてまちに出かけよう！～

P02～04 企業誘致～進出企業による「地域貢献事業」～　P05 やくならマグカップも
P06～07 自然展　P08～09 迫る地震に備えましょう
P10 新型コロナワクチン接種、庁舎だより　P32～35 国際陶磁器フェスティバル美濃'21
○P11 ご意見募集～パブリック・コメント～
定例記者会見情報
○P18 夜間在宅当番医・休日急病診療
駅北庁舎休日開庁日

進出企業による「地域貢献事業」

多治見市では、アフターフォロー事業により市内に進出した企業と良好な関係を継続し、雇用の創出と税収の確保に加えて、さまざまな波及効果を生み出し、地域全体の活性化につなげていきます。

No.01 アマゾン多治見フルフィルメントセンター

7月20日／虎渓用水広場

虎渓用水広場清掃用具の寄付とボランティア清掃

アマゾン多治見フルフィルメントセンター（以下、多治見FC）と、同FC協力会社の日本通運株式会社 岐阜支店 アマゾン多治見事務所、同じく協力会社のファイズオペレーションズ株式会社からの虎渓用水広場清掃用具の寄贈式とボランティア清掃が実施されました。

寄贈式では、多治見FC瀧川代表から施設を管理運営する多治見まちづくり株式会社（以下、TMO）の小口社長に、水路清掃で使用するウェダー（胴長靴）やデッキブラシ、ゴミ拾いで使用するトングなどの清掃用具が寄贈されました。

ボランティア清掃は多治見FCと協力会社19人が参加し、多治見市職員10人と共にTMOの指導を受けながら、虎渓用水広場の水路清掃、雑草の除去、ゴミ拾いが行われました。

瀧川代表は、「多治見の憩いの広場をきれいにして、地域の皆さんと一緒に、気持ちよく使いたいという思いを、協力会社と共有することができて、今回の活動となった。今後もオール多治見FCとして、これまで以上に地域に貢献できる活動を行っていきたい」と語り、古川多治見市長は「アマゾンは人を大切に考える企業。市民の憩いの広場の維持のためのご寄付と汗を共に流す活動は値打ちがある。今後も地域の力になっていただけることを期待している」と述べました。

寄贈を受けたTMOの小口社長は「ここには老若男女が集う。愛していただける広場として憩いと賑わいが生まれていくよう、維持管理に努める。これからも協力していただけるとありがたい」と語りました。

5月11日／アマゾン多治見フルフィルメントセンター

青空マーケット

地元農家の採れたて新鮮な野菜を従業員が直接購入できるマーケットは、季節ごとに実施され、今年で6年目を迎えています。多治見FCで働く人たちと地域をつなぐ活動となっています。

6月9日／小泉交流センター

オンラインイベント放映会

イベントでは、元サッカー日本代表選手の中村憲剛さんをゲストに迎え、子どもたちの将来を豊かにする読書を推進するために、絵本の朗読を通じた人形劇がオンラインで配信されました。

アマゾンでは、読み聞かせや読書、本の寄付など、子どもたちの未来を養う企画「Amazon Reads」キャンペーンを推進しています。

7月25日／笠原町 上原三号池ロード

43区区長 加藤明康さん
「みんなで身近に利用できる周遊路はありがたいです。普段からごみ拾いなど気持ちよく利用することを心掛け、この活動を続けていきたいと思います」

No.02 トヨタ紡織多治見技術センター

地域と力を合わせてボランティア清掃活動

上原三号池ロード（笠原町上原三号池周遊路）は、平成26年に多治見市に進出したトヨタ紡織株式会社からの寄付金を原資に整備され、地域の皆さんとトヨタ紡織株式会社の従業員が定期的にボランティア清掃を行っています。

今回の清掃でも、同社所有のバギーや、遠隔操作で草を刈るラジコン車が使用されました。参加者は、共に声を掛け合い力を合わせながら整備活動を行いました。

「今回の活動には多くの地域の皆さんにご参加いただけて大変うれしく思います。参加者の中には『日頃からこの周遊路をよく使っているから今回の活動に参加した』と声をかけてくれた方もいらっしゃいました。お力になれればと今回も自動草刈車などを活用させていただきました。皆さんのおかげで見違えるようにきれいになりました。今後も継続的に活動を行っていきたいと思います」

トヨタ紡織株式会社
グローバル技術管理部長
加藤麻美さん

7月7日／多治見市役所本庁舎

No.03 明和工業

市と連携し商品開発 やくならマグカップもPR活動に協力

やくならマグカップもPR車両「やくもラッピング公用車」に明和工業（株）製のTRDマルチディスプレイホルダーを取り付け、商品開発に協力します。併せて、明和工業（株）からは高輝度ディスプレイ（47型）などの機器一式が寄贈され、同車両でのPR活動などでの活用が予定されています。

TRDマルチディスプレイホルダーは、全日本ラリー選手権での走行評価において高い安全性が実証されており、スマホやタブレットをモニターやナビとして利用できます。

二番窯 やくならマグカップも

Let's Make a Mug Too

4月から6月までの「やくならマグカップも」第1期放送を終えて、今、多治見市内で何が起きているのでしょうか。10月の第2期放送（放送局：CBCテレビ・BS11ほか）を目前に市内でじわりと広がる「やくも」熱をお届けします。

虎渓窯さんに話を聴きました！

「やくも」を観て作陶に興味を持った市内の方や、名古屋近辺の方、関東圏の方がいらっしゃるようになりました。比較的若い男性がグループや1人で来る場合もありますが、小中学生のお子さんを連れたご家族がいらっしゃるケースもあります。多治見を知って陶芸に興味を持ってもらう意味でも「やくも」は良い話題作りになっていると思います。

多治見市PRセンターに聴きました！！

マグカップのような陶製のものからお菓子など、やくもグッズはどの商品も均等に売れています。コロナ禍にも関わらず、4月から6月までの3カ月間で700人以上の方が「やくも」目当てに駅案内所とPRセンターを訪れました。4月は声優さんのファンが多く、5月はGWがあったこともあり、県外の方が多く、6月は県外のファンの方に送ってあげる目的で市内在住の方が多くグッズを買いに訪れていました。

「やくも」がきっかけで多治見に移住した「木下（きのした） 晨太（たつひろ）」さん（26才）

たまたま入った多治見のコンビニでフリーコミック1巻を手にしたのが「やくも」との出会いです。もともと岐阜を舞台にした物語が好きだったので、「やくも」を読んで、そこに描かれる多治見のことをもっと知りたくなりました。運送会社に勤めているので、多治見の配達中に「やくも」に出てきた場面に出逢うと、テンションが上がります。また、多治見のお客さんの小さな気遣いに温かさを感じます。

多治見に興味を持ち、移住するきっかけになったのは「やくも」です。これからも市内を巡る予定なので、すれ違ったら気軽に声をかけてください。

◀虎渓窯で作陶する木下さん

©プラネット・日本アニメーション/やくならマグカップも製作委員会

たじみの自然展2021

時 10月9日(土)～10日(日) 9:00～17:00　※10日は16:00まで　場 バロー文化ホール

自然講座 2階 ◆大会議室

時間	9日(土)	10日(日)
11:00～	**多治見で見つかったカメ** 土岐川観察館 田村ユカ さん	**テントウムシのひみつ** 根本小学校 江崎心瑚(こここ) さん
13:00～	**コバエの生態と対策** 多治見北高校自然科学部	**頑張れミツバチ** 多治見西高校ミツバチプロジェクト
14:00～	**笠原川の小さな自然再生** 多治見高校自然再生班	**マツ枯れの景観と人々** 信州大学 林孝英 さん

たじみの自然を担う「若い力」

土岐川観察館
田村さん

根本小学校
江崎さん

展示コーナー　1階

◆展示室A

つち・いわ
多治見で見られる
ちそうといし

とり
野鳥に異変
冬のツバメのエサは
何でしょう?

きしょう
雲や光の彩から
天気の変化を知る

むし
多治見には
こんな昆虫たちが
います

さかな
多治見で見られる
魚たちに会えるよ
何種類見つけられるかな?

こうもり
世界と日本の
こうもりたち

かえる
こんなにいます
多治見のカエルたち

はな
カタクリは
ササの中で
生きている

こけいざん
虎渓山の湿地は多治見の宝
里山を守る活動は
楽しいよ

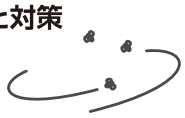
ほし
空のできごと
はやぶさ2も
あるよ

受付

◆展示室B

わかいちから

コバエの生態と対策
多治見北高校
自然科学部



頑張れミツバチ
多治見西高校
ミツバチ
プロジェクト

えいぞう

**高校生の手でできる
小さな自然再生**
多治見高校
自然再生班

空撮で見る
うつりかわり

たじみの自然記念冊子
2021 発刊

過去の「たじみの自然」の冊子。
1991年から5年ごとに開催し、今年で7冊目です。

観察画コンクール　1階　◆市民ホール

「よく見て描いたら
こんな発見!」
入賞作品を展示します。

「たじみの自然展2016」の様子▶

会場には
自然が大好きな
スタッフがたくさん
いるよ。なんでも
聞いてね。

たじみの自然展実行委員
事務局長　深谷 滋浩

問 たじみの自然展実行委員会 深谷　TEL 090-6615-5728　環境課 林 TEL 22-1175

迫る地震に備えましょう

ー命を守る備えと行動ー

問 企画防災課 神田、松崎 TEL 22-1378

30年以内に70～80%、50年以内に90%と高い確率での発生が予測されている南海トラフ地震は、市内で最大震度6弱、全壊の家屋が1,201棟、半壊が3,778棟と大きな被害が予想されています。

いつ地震が起きても被害を最小限に抑えられるように、今からできる備えをしましょう。

命を守る「安全対策」の例

【家の中】

- 家具は壁に固定するなどの対策をする
- 寝室や子ども部屋などにはできるだけ家具を置かないようにし、置く場合は背の低い家具を選ぶ
- 窓ガラスや食器棚などのガラスが飛び散らないよう、飛散防止フィルムを貼る。または、強化ガラスに替える
- 家具の上など、高いところに重い物を置かないようにする

【家の周り】

- 屋根瓦がずれたり、アンテナが不安定になっていたら補強する
- 物干し、植木鉢、エアコンの室外機などはしっかり固定する
- 玄関の周りには自転車や植木鉢などの出入りの支障になるものを置かないようにする
- ブロック塀が老朽化していたら修理する

地震の時の行動10のポイント

①ぐらっときたら身の安全を確保する
②揺れがおさまってから消火、火の始末をする
③室内のガラスの破片に注意する
④窓や戸を開け、逃げ道を確保する
⑤落下物に注意し、あわてて外に飛び出さない
⑥避難の前に電気・ガスなどの安全確認をする
（ブレーカーをOFFにする。ガスの元栓を閉める）
⑦狭い路地や塀には近寄らない
⑧隣近所の安否を確認する
⑨協力し合って救出・救護する
⑩正しい情報に従い、行動する

木造住宅の無料耐震診断

次のすべての要件に該当する一戸建ての木造住宅を無料で耐震診断します。

- 昭和56年5月31日以前に着工
- 在来軸組工法、伝統的工法または枠組壁工法
- 延べ床面積の2分の1以上が居住のために使われている

申込方法 12月28日(火)までに窓口へ
※実施可能上限に達し次第終了
申 問 開発指導課 今川、松井 TEL 22-1336

災害への備えと早めの避難を

～避難所での新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐために～

【避難について考えましょう】

- 自宅での安全確保が可能な方は感染リスクを負ってまで避難所に行く必要はありません
- 自宅が危険な場合は、可能であれば安全な親戚や友人・知人の家などへの避難を検討してください

【避難時に気をつけること】

- マスクを着用して避難しましょう
- 避難所に持っていくものを確認しましょう（マスク、せっけん（消毒液）、体温計、タオル、スリッパ、ビニール手袋、常備薬など）

【避難所で気を付けること】

- 避難所に入る前に体調チェックを受けましょう
- 避難所のルールに従って行動しましょう

手洗い、咳エチケットなどの徹底、十分な換気の実施、避難者同士の十分なスペースの確保 など

更に便利に！停電情報お知らせサービス

無料アプリ

停電情報をプッシュ通知でお知らせします。

App Store からダウンロード

Google Play で手に入れよう

問 中部電力パワーグリッド株式会社
TEL 0120-985-232

「今年から避難情報が変更されました。避難勧告は廃止です。」

地域ごとに避難情報を発令します

警戒レベル		新たな避難情報等
5	災害発生又は切迫	緊急安全確保（きんきゅうあんぜんかくほ）※1
	〈警戒レベル4までに必ず避難!〉	
4	災害のおそれ高い	避難指示（ひなんしじ）※2
3	災害のおそれあり	高齢者等避難（こうれいしゃとうひなん）※3
2	気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）
1	今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報（気象庁）

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。
※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

平成23年豪雨の写真パネル展示の開催

平成23年9月豪雨災害から10年が経過します。平和町や池田町などでは内水氾濫により、多くの建物が床上浸水等の被害を受けました。その後多治見市は国や県と協力し平成23年度から30年度の8年間で74.9億円を投じて土岐川左岸・右岸ポンプ場や脇之島川の整備等浸水対策事業を行い、今後この地域に大きな被害が起きない対策をしました。

この記憶を風化させないため、当時の写真をパネル展示します。

①本庁舎1階ロビー　9月8日（水）～17日（金）
②駅北庁舎1階ギャラリー　9月22日（水）～30日（木）

問 道路河川課 荒川 TEL 22-1276

新型コロナワクチン接種

～接種券（クーポン券）は大切に保管してください～

問い合わせはコールセンターへ

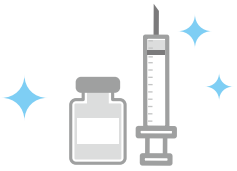
多治見市コロナワクチン接種コールセンター　8:30～17:00（平日）
TEL 23-5552（直通）、22-1111（代表）　内線2450～2455

接種予約できる方には個別に案内を送付しています。

※新型コロナワクチンの接種対象は12歳以上の方（ワクチン接種時点で12歳以上の方）です。

詳しくは市ホームページでご確認ください。

予約方法



〈個別接種〉　予約開始日以降に市内指定医療機関に直接電話またはインターネット（一部の市内指定医療機関）で予約してください。

〈集団接種〉　予約開始日以降に電話またはインターネットで予約してください。
①コールセンターへ電話 TEL　0572-23-5552（直通）、0572-22-1111（代表）
内線2450～2455（平日8:30～17:00）
②インターネット予約サイト https://www.v-rev-tajimi.jp/

職場や学校などで接種を受ける予定のある方

職場や学校などへ、接種券（クーポン券）、予診票を提出して接種を受けてください。
※接種券（クーポン券）が届いていない方は、コールセンターへ電話してください。
※ワクチン接種は、情報提供を行ったうえで、本人の同意がある場合に限り行います。ワクチンの種類、効果や副反応については、厚生労働省ホームページなどでご確認ください。

庁舎だより

～「庁舎の建替え」そして「庁舎から始まるまちづくり」～

問 総務課 TEL 22-1422

■多治見市の人口減少の現状

日本全体の少子高齢化が進む中で、多治見市でも人口の減少が始まっています。平成30（2018）年に行った人口推計によると、令和10（2028）年に10万人を下回り、令和22（2040）年には約8万6千人になると予想されています。人口が減少し、人口密度が低下すると、店舗などの日常生活に必要な施設の撤退、公共交通の衰退・廃止など、暮らしの利便性に支障が出てきます。また、空き家の増加やコミュニティの衰退などの問題が発生してきます。

市では、都市としての利便性やまちの活力を維持していくため、第7次総合計画（後期計画）において、令和22（2040）年までは「人口10万人維持」を目標とし、令和6（2024）年まで「10万5千人維持」を当面の目標としています。この目標の実現に向け、若者・子育て世代の転入促進、出生率の向上に取り組んでいるところです。

■ネットワーク型コンパクトシティとは?

長期的な人口減少が見込まれるなかで、一定の人口密度を維持していくためには、「コンパクト」なまちをつくっていく必要があります。一方で、多治見市は、中心市街地と郊外地域からなるまちです。まち全体が活力を維持していくためには、「中心拠点」と「地域拠点」の両方の活力を維持していく必要があります。このため、「中心拠点」と「地域拠点」を「ネットワーク」でつなぐ「ネットワーク型コンパクトシティ」を目指して、公共交通の維持に向けた取組を進めています。

■市庁舎とまちづくり

市庁舎も「ネットワーク型コンパクトシティ」の実現に向けて、重要な要素です。

現在、本庁舎の建替えに関する議論を進めています。秋に予定している地区懇談会では本庁舎の建替えをメインテーマとする予定です。ぜひ、ご参加いただき、ご意見をお寄せ下さい。

陶磁器意匠研究所からのお知らせ

時 9月11日(土)~10月17日(日) 9:00~17:00

意匠研ギャラリー　竹内紘三展

第44期卒業生の竹内紘三氏による展覧会を開催します。

竹内紘三公開特別講義

研究生の授業である特別講義を一般公開します。

時 9月11日(土)13:30~15:00

定 20人

申込方法 電話またはメールで

竹内紘三▶
「Modern Remains Relight」

多治見市陶芸工房バンク展

多治見市陶芸工房バンクを利用し制作する作家の作品と陶芸工房を紹介する展覧会です。

セラミックスラボ　前期制作展

第19期セラミックスラボ研究生による展覧会を開催します。

場 申 問 陶磁器意匠研究所 駒井　TEL 22-4731　Email ishoken-jinzai@city.tajimi.lg.jp

多治見で働こフェス

多治見市内の優良企業30社（予定）が参加する合同説明会です。

時 9月5日（日）12：30～17：00

場 産業文化センター　5階大ホール

対 市内で就職希望の方

申込方法 LINEでお友達登録後、エントリー（当日参加可）

問 多治見商工会議所 佐伯　TEL 25-5000　　産業観光課 久田、古田　TEL 22-1252

あなたのご意見募集中 パブリック・コメント手続き

市の基本となる計画を定めたり、条例や規則などを制定・改正したりする場合に、その案を公表して広く意見を求めます。資料や実施結果は、市のホームページや本庁舎1階、担当部署で閲覧できます。

ご意見はEメール、FAX、郵送などの方法で提出してください。ただし、個々の意見には直接回答はしませんので、ご了承ください。

多治見市児童等適応指導教室(さわらび学級)設置規則の一部改正	期 8月4日(水)~9月3日(金)　問 教育推進課　TEL 23-5904
令和4年度指定管理者の選定について	期 8月9日(月)~9月8日(水)　問 産業観光課　TEL 22-1252

※予定している募集テーマや期間は変更することがあります。広報紙掲載分以外にも案件があります。

問 秘書広報課 水野　TEL 22-1372

定例記者会見情報

— 市政情報発信 —

7月　1 新型コロナワクチン接種について

定例記者会見の他にも、FMたじみPiPiや地域みっちゃく生活情報誌®『おりべくらぶ®』、ケーブルテレビおりべネットワークなど、さまざまな方法で市長出演による情報発信を行っています。

問 秘書広報課　TEL 22-1372

『やくならマグカップも』

第1期　ケーブルテレビおりべ12chで全12話一挙放送!

アニメの舞台やロケ地や見どころ、多治見の魅力を紹介する番組「やくも百景」と合わせて、9月の土日はおりべ12chで「やくも」を楽しもう!

問 おりべネットワーク　TEL 24-7733